



①



②



③

- ①200mスタートの瞬間(陸上)
②激しい組み手争い(柔道)
③高い打点からのスパイク(バレーボール男子)

スポーツを通じて交流を図ろうと開催されている、東部五市体育大会が、5月17日に香取市などを会場に開催されました。香取市、成田市、鉾子市、匝瑳市、旭市の5市で開催しているこの大会も今年で59回目を迎え、26競技で熱戦が繰り上げられました。旭市は剣道、バドミントン(男子・女子)、ソフトボール(男子)の4競技で優勝し、総合では第4位でした。

旭市は4競技で優勝

東部五市体育大会

真心レストラン

より良いサービスに向け、飲食店関係者が疑似体験

市内の飲食店関係者などに高齢者や障害者、妊婦の疑似体験をしてもらい、介助が必要な人へのサービスや食事の提供に役立ててもらおうとするイベント「真心レストラン」が4月27日、飯岡保健センターで行われました。視野を狭くするゴーグルや、体の動きを制限する装具などを身に着け食事を取った参加者たちは、より良いサービスの提供に向け、不自由に感じたことなどを互いに発表し合っていました。



ゴーグルなどを身に着け、食事を取る参加者

旭市民陸上競技大会

自己記録の更新や入賞を目指して



ハードルを飛び越え、ゴールへ向かう

今回で第10回となる旭市民陸上競技大会が5月3日、東総運動場陸上競技場で開催されました。100mやハードル、走り幅跳びなどの競技に、小学生から一般まで延べ558人が出場。家族や同級生などの声援がスタンドから送られる中、自己記録の更新や入賞を目指し、競技に臨む参加者たちの姿がありました。

5/3 長熊釣堀センターで釣り人たちが腕比べ



魚を寄せる参加者、波紋が広がる

長熊釣堀センターで「春のヘラブナ釣大会」が開催。市内外から多くの釣り人が訪れ、互いに腕を競い合いました。水面のウキに目を凝らし、次々と魚を釣り上げていく参加者たち。栈橋に並んだ釣りざおが大きく曲がるたび、かかった魚の水面をたたく音が、釣り堀内に響いていました。

5/6 若い世代の生産者と飲食店などが旭の魅力を発信



旭の食材を笑顔でアピール

「地産地消」と「未来」をテーマに、生産者と飲食店などが集結する一大フード・パーティ「VILLAGE」が、袋公園で開催されました。若い世代の生産者や飲食・小売業の人たちが食材や料理、雑貨などを通して旭の魅力をアピール。会場は多くの出店ブースが並び、商品を買求める大勢の来場者でにぎわいました。

5/11 交通ルールを守って事故防止



警察署から啓発に出発

春の全国交通安全運動出動式が、旭警察署で行われました。旭中央病院の看護師2人が「交通安全宣言」を行い交通ルールの遵守などを誓ったほか、関係団体などが街頭や旭中央病院のロビーで啓発物の配布を行い、交通事故防止を呼び掛けました。

5/17 「座頭市物語」の発祥地を広める



「市さん会素人一座」による演劇

「座頭市物語文学碑建立5周年碑前祭」が東総文化会館で開催されました。何度も映像化された座頭市物語。この碑前祭は、飯岡が発祥地だったことを広めようと開かれています。この日、記念講演や講談、演劇などが行われた会場には、多くの人が詰め掛けていました。

海上かあちゃん市

早朝から大にぎわい



自慢の品々を販売

毎週日曜日に、JAちばみどり旧嚙鳴支店駐車場前広場で行われている「海上かあちゃん市」。その設立23周年を記念する朝市が4月26日に開催されました。この日は記念のつきたて餅の無料配布も行われ、会場は早朝から大にぎわい。新鮮な野菜や加工品などを購入した来場者の一人は「新鮮な野菜や手作りのおかずなどがあってうれしい。毎週楽しみにしています」と話していました。

看護の日のイベント

地域で輪となり つなげる看護



体組成計による測定コーナー

ナ イチンゲールの生誕日の5月12日は「看護の日」、この日を含む1週間は「看護週間」とされています。これに合わせて看護の重要性について理解してもらおうと、旭中央病院で5月13日にイベントを開催しました。

この日会場では、訪問介護の紹介や血圧測定、体脂肪測定などが行われ、多くの人でにぎわいました。各種の測定を行い、看護師の病気予防に関する説明などに熱心に耳を傾ける人の姿がありました。